



並木中等story

令和2年12月23日号①

12月23日の全校集会での講話の内容です。

●今日のテーマは“今、日本で進められている教育改革と並木中等の凄さ”です。

●皆さんは今、大きな教育改革の真っ只中であることは知っていますか。これまでの教育とこれからの教育の大きな教育の違いは何なのか。これまではどれだけ知識があるか、どれだけ理解ができるかが重要でした。そのため、知識・理解重視のテストで高得点をとれる生徒が優秀な生徒でした。授業も先生から生徒への一方的な講義が中心でした。

●しかし、その成果はどうだったか？その優秀な生徒が皆、社会で活躍できたか。そうではなかったのです。ペーパーテストでは高得点をとるが、社会人としては、今一步の人が多くいました。

●さらに衝撃的なデータがでました。OECD加盟国が実施しているPISA（ピザ）のテストの結果です。それにより次のようなことが分かりました。

- ・日本人は高得点は取るが、今の勉強は将来役に立つと思っている生徒が少ない
- ・学習を楽しんでいる人が少ない
- ・学習した内容を10年以内に忘れてしまう人が多い
- ・大学に合格するための勉強となっているだけで、真の学びとなっていない

さらに記憶だけならば、コンピュータですぐに情報が得られる社会になりました。

●それらを受けて国や文部科学省は考えました。その結果、学校で学ぶべき内容を示した学習指導要領を見直すことになりました。知識・理解だけではなく、それらを活用する思考・判断・表現を重視する内容にしよう、主体的にいろいろな人と協働して学ぶ態度を育てていこうというものです。

●そして、入試でもそのような視点が強化されるようになるのです。6年次生はセンター試験から変わった共通テストを来月受験します。名前が変わるだけではありません。問題も思考・判断・表現の内容が大幅に増えているはずです。皆さんは分からないかもしれませんが、県立高校の入試でも思考・判断・表現の内容が大幅に増えています。

●今、大切なことは、知識や理解したことを活用し思考・判断・表現をとおして、生活や社会に役立てることだと思ってください。このことを忘れて勉強していると過去のスタイルの学習になってしまいます。

●では、この教育改革に対して並木中等はどうか。安心してください。並木中等は大丈夫です。私はこの4月に並木中等に転勤し、8ヶ月たちました。今、その素晴らしさを実感しています。皆さんは並木中等の凄さに気付いているでしょうか。ほとんどの人が他の中学校や高校を経験していないので分からないところもあると思うのでお話しします。